

ペットのための災害発生時の手引き

ペットも家族の一員です。そして、ペットのための備えは、基本的に飼主の責任で行います。いざというときに備え、あなたの大切なペットも安全に避難できるよう、次のことに心がけましょう。

1 ペットのための防災用品（災害が発生したときのために）

最低限これだけは準備しておきましょう。非常用袋や密閉性バケツなどに入れておくと便利です。



- ① エサと水（3日分程度）
 - ② ケージやキャリーバッグ
 - ③ 引き綱やハーネス
 - ④ トイレ用具（ビニール袋、古新聞、ペットシート、猫の砂など）
 - ⑤ 写真（ペットと家族の方が一緒に写っているもの）
- ペットが行方不明になったときなどに役立ちます。

2 日頃から心がけておくこと

① 身元表示

行方不明になったときに早期発見できるよう、首輪、名札、鑑札・注射済票（犬の場合）、マイクロチップ*など身元を確認できるものをつけておきましょう。

② ワクチン接種

伝染病の感染を防ぐために、ワクチンを接種しておきましょう。

③ しつけ

周囲の人に迷惑をかけないように、日頃から他の人に慣れさせるとともに、鳴き声やかみつきなどで迷惑をかけないようにしつけをしておきましょう。また、トイレも決められたところとするようしつけをしておきましょう。

④ 避妊・去勢手術

他の動物と接触したときのトラブルや不必要な繁殖を防ぐために、避妊・去勢手術をしておきましょう。

⑤ ケージやキャリーバッグに慣らしておくこと

避難用のケージやキャリーバッグには、普段からときどき体験させて慣らしておきましょう。



*マイクロチップ：動物の個体識別ができる器具です。専用の注射器で皮膚の下に埋め込みます。埋め込みは、動物病院で行うことができ、麻酔は必要ありません。それぞれのマイクロチップには、世界で唯一の変更不可能な15桁の番号が記録されており、専用の読取器で読み取ります。一度装着すれば、半永久的に識別が可能なので、災害が発生したときや迷子になったときに有効です。

名古屋市健康福祉局・保健所

このリーフレットは再生紙（古紙100%）を使用しています。